

平成 24 年度

事業報告書

公益財団法人 ころすこやか財団

～目 次～

**公益財団法人 ころすこやか財団の運営**

- (1) 理事会・評議員会

**公益事業 1：障害者の自立の支援に関する事業**

- (1) 障害者の相談支援・活動支援  
◆ 地域生活支援センター青明舎
- (2) 障害者の就業・生活支援  
◆ 障害者就業・生活支援センターみさわ
- (3) 障害福祉サービス  
◆ ころすこやか財団グループホーム  
◆ ケアホーム 青風荘  
◆ 障害者生活訓練施設 青山荘  
◆ 障害者就労移行支援事業
- (4) 障害者の作品展示

**公益事業 2：高齢者の生活・相談支援事業**

- (1) 在宅介護支援センターの運営  
◆ 在宅介護支援センターたえみ（多笑）
- (2) 若年性認知症者の支援  
◆ 若年性認知症サポートセンターゆえみ（結笑）
- (3) 認知症対策・地域支援  
◆ もの忘れ検診機器の貸出  
◆ 認知症事例検討会  
◆ 若年性認知症サロンゆうき（結喜）  
◆ 介護予防  
◆ 認知症徘徊 SOS 模擬訓練
- (4) サービス付き高齢者向け住宅の管理・サービス提供

**公益事業 3：障害者・高齢者が安心して暮らせる  
地域づくり事業**

- (1) 障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催
- (2) 法人後見の実施ならびに市民後見人の活動支援
- (3) 精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

**収益事業 1**

- (1) コインランドリー・自動販売機の設置事業

# 理事会・評議員会

報告担当者 事務 中居美智子

## 【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防及び治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を目的とする。

## 【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

## 【報告内容】

- ①理事会の開催
  - 1) 年3回理事会を定期的に開催

実施月	実施内容
H24.5.26	第1号議案 平成23年度 事業報告に意見具申と承認を受ける件 第2号議案 平成23年度 決算報告に意見具申と承認を受ける件 第3号議案 平成23年度 補正予算に意見具申と承認を受ける件 第4号議案 人事規約変更意見具申と承認について 1) 報告 公益法人の登記終了について 2) 報告 新理事・評議員の任期の確認
H24.11.12	第1号議案 平成24年度 中間決算報告に承認を受ける件 第2号議案 平成24年度 補正予算に承認を受ける件 第3号議案 法人内規に承認を受ける件 1) 報告 代表理事の職務執行の状況
H25.3.26	第1号議案 平成25年度事業計画(案)に承認を受ける件 第2号議案 平成25年度収支予算(案)に承認を受ける件 第3号議案 平成25年度資金調達及び設備投資の見込み書類に承認を受ける件 第4号議案 給与締日と支払い日の変更(案)に承認を受ける件 第5号議案 人事規約変更(案)に承認を受ける件 1) 報告 平成24年度第2回理事会以降の職務執行の状況 2) 報告 平成25年度公益財団法人こころすこやか財団組織

- 2) H24年度は理事会の議決が必要な案件に対し、臨時で理事会を開催することはなかった。

②定時評議員会・臨時評議員会の開催

1) 定時評議員会の開催。

実施月	実施内容
H24.5.26	第1号議案 平成23年度 事業報告に意見具申と承認を受ける件 第2号議案 平成23年度 決算報告に意見具申と承認を受ける件 第3号議案 平成23年度 補正予算に意見具申と承認を受ける件 第4号議案 人事規約変更意見具申と承認について 1) 報告 公益法人の登記終了について 2) 報告 新理事・評議員の任期の確認
H25.3.23	第1号議案 平成25年度事業計画(案)に承認を受ける件 第2号議案 平成25年度収支予算(案)に承認を受ける件 第3号議案 平成25年度資金調達及び設備投資の見込み書類に承認を受ける件 第4号議案 給与締日と支払い日の変更(案)に承認を受ける件 第5号議案 人事規約変更(案)に承認を受ける件 第6号議案 評議員の退任と補欠評議員の選任について 第7号議案 平成25年度 役員報酬(案)に承認を受ける件 1) 報告 平成25年度公益財団法人こころすこやか財団組織

2) 評議員会の議決が必要な案件に対し、臨時評議員会を開催した。

実施月	実施内容
H24.11.12	第1号議案 平成24年度 中間決算報告に承認を受ける件 第2号議案 平成24年度 補正予算に承認を受ける件 第3号議案 法人内規に承認を受ける件

# ◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 中居則子

## 【報告概要】

障害者および家族からの来所相談・電話相談・訪問しての相談を行い、生活全般・医療相談・日常の悩み事等へ、必要な情報の提供および助言、解決を講じる支援計画を作成し、相談内容にかかわる機関との連絡調整を行うことで、相談内容の解決を図った。その他、障害者の虐待や障害児・多問題ケースへの相談・直接支援や権利擁護にも取り組んだ。相談受付については、各種障害の特性に応じて、家族、医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談も受け付けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が、気軽に立ち寄れる環境づくりを行った。障害者ボランティアの活動の場としての機能も担い、障害者の地域交流活動を推進した。これらを実施し、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援した。

## 【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センター I 型事業

## 【報告内容】

### ①相談支援事業

- ・障害者への相談支援事業は、八戸市・五戸町・南部町・階上町・田子町・おいらせ町・新郷村と委託契約を締結。精神障害に限らず障害全般（虐待・障害児・多問題ケースなど）への相談対応を行った。また、住居の確保や入居に関する連絡調整を行った。

#### 1) 訪問、来所相談、同行、電話相談、関係機関との連絡調整、個別ケア会議の実施

実施月日	行動報告														
H23年4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成														
通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問、来所、同行、電話相談等の対応を実施。</li> <li>・委託市町村には、毎月実績報告を提出。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>年間延べ利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問</td> <td>682件</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td>6468件</td> </tr> <tr> <td>同行</td> <td>142件</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>876件</td> </tr> <tr> <td>関係機関との連絡調整</td> <td>1371件</td> </tr> <tr> <td>個別ケア会議</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	年間延べ利用件数	訪問	682件	来所相談	6468件	同行	142件	電話相談	876件	関係機関との連絡調整	1371件	個別ケア会議	1件
支援内容	年間延べ利用件数														
訪問	682件														
来所相談	6468件														
同行	142件														
電話相談	876件														
関係機関との連絡調整	1371件														
個別ケア会議	1件														

#### 2) 地域自立支援協議会担当者会議への参画

- ・障害福祉計画作成等、地域の障害者福祉の質向上に貢献した。

実施月日	行動報告
H24年 7月26日 H24年 11月 5日 H25年 1月18日	八戸市地域自立支援協議会事務局会議
H24年 9月27日 H24年 11月15日 H25年 1月24日	八戸市障害者相談支援事業者連絡会議

今年度は、南部町地域自立支援協議会は実施なし。

### ②地域活動支援センター I 型事業

- ・在宅の障害者を対象に、創作的活動、生産活動の機会の提供及び社会との交流促進等の基礎的事業並びに基礎的事業の機能を強化するその他の事業を実施し、障害者の福祉の増進を図った。

1) プログラム活動の企画・運営

- ・活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	活動年間スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

年間延べ利用者数：8406名（利用者実数119名）

1日あたりの延べ利用者数：26.9名

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

- ・生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

実施月日	行動報告	受講人数
4月	活動室年間スケジュールの作成	
5月5日（土）	花見・カラオケ	5名
6月23日（土）	手作りゲーム大会	17名
7月28日（土）	すこやか祭り（本部）	16名
8月25日（土）	収穫祭	6名
9月22日（土）	ぶどう狩り	18名
10月27日（土）	卓球大会	23名
11月17日（土）	映画鑑賞会&お茶会	17名
12月24日（火）	もちつき大会（本部）	26名
1月1日（火）・2日（水）	正月イベント 鍋会	8名・10名
2月23日（土）	風船バレー大会	21名
3月30日（土）	手巻き寿司・せんべい汁パーティー	24名

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

- ・医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施。

月	行動計画	参加者
4月	活動年間スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成	
6月16日	サポーター養成講座① <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：ボランティアとは？ 講師：社会福祉協議会 中里雅恵氏</li> <li>・講義：地域で暮らす障害者を支えるために 講師：社会福祉法人ぶさん会 理事長 豊山信子氏</li> <li>・講義：知的障害者について 講師：NPO 法人どんぐりの家 理事長 西山光子氏</li> </ul>	13名
6月23日	当事者交流① 清明舎行事参加	8名

7月21日	<b>サポーター養成講座②</b> ・疑似体験：精神障害者疑似体験 ・講義：精神障害者について 講師：財団職員 長谷部泰史（精神保健福祉士）	11名
7月28日	当事者交流② 財団行事参加	8名
8月18日	<b>サポーター養成講座③</b> ・疑似体験：身体障害者疑似体験 ・講義：身体障害者について 講師：NPO 法人ふれ愛プラザあおば 統括管理者 工藤志朗氏	8名
8月25日	当事者交流① 青明舎行事参加	4名

受講者実数：13名

4) ライフサポート

実施月日	行動報告												
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急対応（オンコール）の対応を実施。 <table border="1" data-bbox="746 913 1350 1151"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>年間延べ利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入浴</td> <td>706件</td> </tr> <tr> <td>洗濯</td> <td>1495件</td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td>食事作り</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>オンコール（夜間電話）</td> <td>268件</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	年間延べ利用件数	入浴	706件	洗濯	1495件	インターネット	37件	食事作り	1件	オンコール（夜間電話）	268件
支援内容	年間延べ利用件数												
入浴	706件												
洗濯	1495件												
インターネット	37件												
食事作り	1件												
オンコール（夜間電話）	268件												

## ◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

### 【報告概要】

- ・就職を希望する障害者、職場不適應により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行い、障害者の職業生活における自立を図るよう支援した。
- ・生活支援担当職員が、支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、障害者の就労継続を図ることを目的とし就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

### 【報告項目】

- ①雇用安定事業
- ②生活支援等事業

### 【報告内容】

#### ①雇用安定事業

##### 1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、職場訪問、実習先確保、事業所説明、利用者説明、短期職場実習制度の利用

##### 2) 障害者の就業支援からみる生活支援

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

※2 生活支援等事業と連動

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、実習先確保、事業所説明、利用者説明、短期職場実習制度の利用、家庭訪問

##### 3) 目標件数に対する実績

計上方法としては、雇用安定等事業の実施希望把握時の就業支援の実績のカウント方法に揃えている。

件数設定項目	目標値	実績	達成率
支援対象障害者数（人）	170人	187人	110%
障害者に対する相談・支援件数（件）	2,500件	2,378件	95%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数（件）	21件	21件	100%
就職件数（件）	18件	26件	144%

##### 4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

各期における実績等の報告を行った。また活動状況等、各関係機関と情報を共有し、連携を図った。

月	行動報告
H24年4月	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
H24年5月	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
H24年6月	みさわ連絡会議・養護学校生徒、企業実習の巡回協力
H24年7月	四者面談（第二高等養護学校）
H24年8月	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
H24年10月	養護学校生徒、企業実習の巡回協力・
H24年11月	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
H24年12月	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議、みさわ連絡会議

H25年1月	移行支援会議（七戸、八戸第二養護学校）
H25年2月	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
適宜	各障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会議

## ②生活支援等事業

### 1) 生活上の相談、助言

生活支援担当職員が生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する相談、助言を適宜実施した。

### 2) 家庭、職場、実習先等への訪問巡回

必要に応じて家庭訪問や職場、実習先への訪問を実施し、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の問題に関して相談、助言を行った。

### 3) 基礎訓練の実施施設確保

職業準備訓練の前段階として、支援対象障害者との信頼関係の形成、能力や特性等の把握を目的とした訓練を実施する場として提携施設の確保を行った。

### 4) 関係機関との連携

事業が円滑かつ効果的に行われるように努め、市町村、公共職業安定所などをはじめとした関係施設と連絡を密にし、地域自立支援協議会、就労支援事業（チーム支援）にて連携体制を構築、切れ目のない一貫とした連携をとった。

## ◆こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 施設管理者 秋山欣也

### 【報告概要】

障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は、社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

「あおぞら（定員：女性7名）」「あおば（定員：男性5名）」「あおめ（定員：男性6名）」

### 【報告項目】

- ①支援計画の作成、及び提供
- ②関係機関との情報共有、及び連携
- ③生活の質、及び健康の維持
- ④年間利用者状況

### 【報告内容】

#### ①支援計画の作成及び提供

利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた、生活支援計画を作成し提供するとともに継続的な評価を実施し、適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
4月	アセスメント
4月・10月	生活支援計画の評価・生活支援計画の作成検討会議
4月・10月	生活支援計画の作成と提供・同意

#### ②関係機関との情報共有、及び連携

利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療機関、その他の関係機関、家族との密接な連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 ケア会議の実施、参加

③生活の質、及び健康を維持

生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。

実施月日	実施内容
11月12日・3月18日	避難訓練 誘導灯の設置（あおば・あおめ）
随時	服薬の管理・住民検診の実施 家屋建物の管理や設備の管理・大掃除日の設定
8月28日	障害者虐待防止・権利擁護研修参加（三浦）

④訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

月	行動計画
毎月	会計に関する諸記録の整備

⑤年間利用者状況

（利用者数は毎月末現在）

月	あおぞら(女)定員7			あおば(男)定員5			あおめ(男)定員6		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H24.4月	0	0	5	0	0	3	0	0	5
5月	0	0	5	0	0	3	0	0	5
6月	0	0	5	1	0	4	1	0	6
7月	0	0	5	0	0	4	0	0	6
8月	0	0	5	0	0	4	0	0	6
9月	0	0	5	0	0	4	0	0	6
10月	0	0	5	0	0	4	0	0	6
11月	0	0	5	0	0	4	0	0	6
12月	0	0	5	0	0	4	0	1	5
H25.1月	0	0	5	1	0	5	0	0	5
2月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
3月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
計	0	0	60	2	0	49	1	1	66

## ◆ケアホーム 青風荘

報告担当者 施設長 小坂和子

### 【報告概要】

障害程度区分2以上で介護給付サービス支給決定を受けた利用者に対し、食事や服薬、入浴、排泄等の介助及び日常生活上の支援を行い、地域において自立した生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況等に応じて、共同生活住居において適正な指定共同生活介護を提供し、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

### 【報告項目】

①ケアホーム 青風荘の運営 ※ 青風荘定員 20名

### 【報告内容】

①ケアホーム 青風荘の運営

- 1) 共同生活住居における日常生活上の支援全般、相談、日中活動連絡調整
- ・日常生活上の介護、支援、家事、相談・助言等の実施。(夜間含む)生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要な支援サービスを提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の介助、洗濯及び掃除・買物等の家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

- ・日中活動の場等との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～金	通所リハビリテーションスタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援。外来時における利用者の身体、及び精神状況の情報提供。
随時	ケア会議への参加

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

- ・利用者・家族の現状やニーズなどを把握し適性な共同生活を提供した。

実施月日	実施内容
H24年4月	面談・アセスメントシート作成
H24年4・10月	個別支援計画の作成・提供
H24年4・10月	個別支援計画の検討会議・評価、同意

3) 関係機関との情報共有、及び連携

実施月日	実施内容
適宜	外来通院の付き添い及び情報提供 関係機関との情報共有 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

- ・定期検診の実施

実施月日	実施内容
毎日朝・夕	必要に応じて対象者のバイタル測定
H24年 6月	頭部CT検査
H24年 6月	胸部X-P・採血（潜在性結核感染対象者）
H24年 10月	胸部X-P
H24年 11月	心電図 インフルエンザ予防接種
H25年 2月	脳波
H24年 10月・H25年 3月	定期採血（一般セット）
毎月	糖尿病者対象（1名）～血統検査
H24年 6月・12月	潜在性結核感染対象者の定期健診～保健所報告

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H24年 8月・2月	第三者委員会の開催
H25年 2月	避難誘導訓練（夜間想定）
H25年 3月	避難誘導訓練（日中想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	H25年 4月、24年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

- ・利用者負担額等の請求・生活費等の受領業務、及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月 10日・25日	会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

- ・サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月初め	会計に関する諸記録の整備 介護給付サービス提供実績記録提出

## 8) 余暇活動支援

## ・レクリエーションの実施

月	行動計画
H24年5月	花見（八戸植物公園）
6月	バスハイク（館鼻グレットタワー見学・燕島散策）
7月	イチゴ狩り（アグリノの里おいらせ）
8月	屋外特別調理会（施設前広場でバーベキューなど）
9月	バスハイク（三沢市民の森・やすらぎ荘日帰り温泉）
10月	手打ちそば作り体験・紅葉見学（八戸市民の森）
11月	是川遺跡見学（八戸市埋蔵文化財センター）
12月	クリスマス忘年会（施設内）
H25年1月	新年会（施設内）
2月	荘内特別調理会・映画鑑賞（施設内）
3月	バスハイク（八戸水産科学館マリエント見学）

## 9) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

月	各月在所数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H24.4月	7	8	15	0	0	0	1	1	2
5月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
6月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
7月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
8月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
9月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
10月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
11月	8	8	16	1	0	1	0	0	0
12月	8	8	16	0	0	0	0	0	0
H25.1月	7	8	15	0	0	0	1	0	1
2月	7	8	15	0	0	0	0	0	0
3月	8	8	16	1	0	1	0	0	0
計	87	96	183	2	0	2	2	1	3

# ◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 施設管理者 秋山欣也

## 【報告概要】

障害者が自立した日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を提供し、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供、地域連携を図った。

## 【報告項目】

- ①障害者生活訓練施設 青山荘の運営  
※通所生活訓練 定員 20 名 宿泊型訓練 定員 20 名

## 【報告内容】

- ①障害者生活訓練施設 青山荘の運営  
1) 地域生活への動機付けやコミュニケーションスキルの習得、生活の基礎作り、及び生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムを実施した。

実施月日	実施内容
通年	服薬教室（疾病教室）、健康管理（病状管理、ストレス対処技術）、セルフケア（保清）、栄養教室、安全・危機管理（防災、盗難・詐欺、消費者トラブルなど）金銭管理、地域生活に向けての目標設定（住居プラン）、身だしなみ、掃除・整理、買い物、調理教室、創作活動、趣味活動、外出・外泊、余暇活動、コミュニケーションスキル向上等に関するプログラムを実施
適宜	生活全般に関する相談支援

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施  
利用者・家族の現状やニーズなどを把握し、適切なケアマネジメントを行なった。

実施月日	実施内容
H24 年 4 月 新規利用者（随時）	面談・アセスメント・個別支援計画の作成・同意
適宜（6ヶ月以内）	モニタリング実施 アセスメント・個別支援計画作成検討会議実施

3) 関係機関との情報共有、及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療、関係機関、家族との密接な連携を行なった。

実施月日	実施内容
適宜	外来通院時の付き添い及び情報提供。関係機関との情報共有。家族との連絡・面談及び情報交換。ケア会議への参加。
随時	支援会議の実施

4) 生活の質向上・維持、非常災害対策

実施月日	実施内容
H24年8月・2月	第三者委員会の開催
H25年2月	避難誘導訓練（日中想定）
H25年3月	避難誘導訓練（夜間想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	H25年4月、24年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・生活費等の受領業務、及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月10日・25日	会計に関する諸記録の台帳整備

6) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

月	行動計画
毎月	訓練給付サービス提供実績記録提出 会計に関する諸記録の台帳整備

7) 年間利用者状況

「宿泊型」（利用者数は毎月末現在）

月	各月利用数			新規利用			終了		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H24.4月	8	5	13	0	1	1	1	0	1
5月	7	5	12	0	0	0	1	0	1
6月	6	4	10	0	0	0	1	1	2
7月	6	3	9	0	0	0	0	1	1
8月	6	3	9	0	0	0	0	0	0
9月	7	3	10	1	0	1	0	0	0
10月	7	3	10	0	0	0	0	0	0
11月	7	4	11	0	1	1	0	0	0
12月	7	4	11	0	0	0	0	0	0
H25.1月	7	4	11	0	0	0	0	0	0
2月	8	5	13	1	1	2	0	0	0
3月	9	5	14	1	0	1	0	0	0
計	85	48	133	3	3	6	3	2	5

「通所型」（利用者数は毎月末現在）

月	各月利用数			新規利用			終了		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H24.4月	8	5	13	0	1	1	1	0	1
5月	7	5	12	0	0	0	1	0	1
6月	7	4	11	0	0	0	0	1	1
7月	8	3	11	1	0	1	0	1	1
8月	8	3	11	0	0	0	0	0	0

9月	9	3	12	1	0	1	0	0	0
10月	9	3	12	0	0	0	0	0	0
11月	9	4	13	0	1	1	0	0	0
12月	10	4	14	1	0	0	0	0	0
H25.1月	10	4	14	0	0	0	0	0	0
2月	11	5	16	1	1	2	0	0	0
3月	11	5	16	1	0	1	1	0	0
計	107	48	157	5	3	8	3	2	5

## ◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 統括管理者 松倉典子

### 【報告概要】

障害者が自立した日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加として就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に、障害者の自立した生活を助長するため、障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する検討会等を行った。

### 【報告項目】

①障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

### 【報告内容】

①障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

1) 設置場所の検討

・現障害者就業・生活支援センターみさわの事務所を事業所設置場所とした。

住所：三沢市本町1丁目62-9

2) 立ち上げ準備の実施

実施日	実施内容
H25.1.	三沢市へ事業展開の意向を伝える
H25.3	三沢市健康福祉部 家庭福祉課 課長・課長補佐・担当職員に対し事業計画をプレゼン 青森県障害福祉課へ事業計画と申請の意向を通知

3) 立ち上げ時期の検討

・開設時期を平成25年8月とすることとした。

## ◆障害者の作品展示

報告担当者 統括管理者 松倉典子

### 【報告概要】

障害者の美術作品の発表・展示の場を提供し、障害者の教養を高め、自主活動の育成を図り、登録していただいた地域住民及び専門職等に対し公開した。

### 【報告項目】

- ①障害者への作品募集
- ②障害者の作品展示

### 【報告内容】

#### ①障害者への作品募集

- 1) 障害者を支援する関係機関へ、当事業周知のための広報活動を行った。

実施月	実施内容
随時	・青南病院作業療法チームと連携し、作品の募集を行った ・若年性認知症サポートセンターゆえみの利用者への募集を行った

#### ②障害者の作品展示

- 1) 病気の症状等の現れともいえる作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めていただくために、障害者の作品を紹介した。

実施月	実施内容
H24.7.26	八戸大学 学生15名 教官2名
H24.10.29	障害者支援施設関係者 88名
H25.3.16	高齢者支援施設関係者 76名

## ◆在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 センター長 山口亜矢子

### 【報告概要】

地域の高齢者世帯、独居、または要介護状態となるおそれのある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるよう支援する事を目的とした。

また、地域の高齢者見守りネットワークや生活・介護支援サポーターを構築し、高齢者福祉の増進を図っている。

### 【報告項目】

- ①高齢者実態把握事業
- ②介護予防プラン作成事業
- ③介護予防教室事業
- ④高齢者見守りネットワーク事業
- ⑤ボランティア育成・活用事業
- ⑥生活・介護支援サポーター事業

### 【報告内容】

#### ①高齢者実態把握事業

- 1) 担当地区の特定高齢者及び一般高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

月	実施内容
H24年4月～H25年3月	担当地区において241件訪問実施

担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	76名	24名	100名
館	56名	52名	108名
豊崎	17名	16名	34名
合計	241名		

- 2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	11回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	12回
	合計	23回

#### ②介護予防プラン作成事業

- 1) 実態把握で訪問した高齢者を対象に、要介護状態を防ぐために予防プランを作成した。

担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	76名	24名	100名
館	56名	52名	108名
豊崎	17名	16名	33名
合計	241名		

#### ③介護予防教室事業

- 1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

担当地区	実施回数
田面木	13回
館	2回
豊崎	13回
合計	28回

#### ④高齢者見守りネットワーク事業

- 1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築する。

町内	実施回数
上田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	4回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	2回
合計	6回

#### ⑤ボランティアの育成・活用事業

- 1) 地区民生委員やほのぼの交流協力員に対し、認知症理解等についてのボランティア育成講座を開催した。

- 2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。地域住民対象にボランティア育成の一環として認知症サポーター養成講座を実施した。

月	実施内容
H24年10月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

⑥生活・介護支援サポーター養成事業

- 1) 高齢者が地域で安心して生活するため、地域住民からサポーターを地域で活用するために養成事業を行った。

・養成対象地区・人数：鮫・白銀南・南浜在住の2名養成

実施日	実施内容
H24年11月7日	地域資源を知ろう（研修） 講師：八戸市社会福祉協議会 中里雅恵
	高齢者疑似体験（研修） 講師：八戸市社会福祉協議会 中里雅恵
11月13日	お薬のお話し（研修） 講師：八戸市ケイ薬局 薬剤師 高橋信一
	守らなければならないこと～守秘義務について～（研修） 講師：こころすこやか財団 山口亜矢子
11月20日	自分を知ろう（研修） 講師：八戸大学 准教授 篠崎良勝
11月27日	コミュニケーションってどんなこと？（研修） 講師：オフィス円香 大坂彰子
11月29日	認知症予防介護予防教室（演習） 講師：瑞光園在宅介護支援センター 佐々木神治
H25年1月25日	レクリエーション健康教室（演習） 講師：特別養護老人ホーム瑞光園 作業療法士 岩崎真弓
3月9日	認知症サポーター養成講座（演習） 瑞光園在宅介護支援センター 佐々木瞳

## ◆若年性認知症サポートセンターゆえみ（結笑）

報告担当者 鈴木厚子

### 【報告概要】

若年性認知症者の特性に配慮した介護及び生活援助の提供を行い、その状態に応じた適切な支援を受けられるようにした

### 【報告項目】

- ①通所支援サービスの実施
- ②相談支援の実施
- ③啓発活動の実施
- ④若年性認知症支援ガイドブックの作成

### 【報告内容】

#### ①通所支援サービスの実施（毎週火・木）

- ・アルツハイマー型認知症疑い、脳血管性認知症疑いの方を含め、介護保険未申請の方や障害者手帳の有無に関わらず、認知機能に問題があると思われる64歳以下で発症した方を対象に、若年性認知症者の特性に適したサービスを提供した。

月	行動報告		
	活動日数	参加延人数	活動内容
毎週火曜日	51日	194人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈りや環境整備等収入の得られる業務</li> <li>・イベント出品用作品（革細工・ガラス細工・ヒバ匂袋・キーホルダー・マグネット・メモスタンド・押し絵の小物等）作製</li> </ul>
毎週木曜日	52日	154人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳リハビリ（数学・書写・間違探し等）の実施</li> <li>・趣味活動（調理・運動・外出・折り紙・貼り絵・書道等）</li> </ul>

#### ②相談支援の実施

- ・若年性認知症者及びその家族、またサービス提供事業所職員等を対象に、日常の困り事や対応の仕方等の相談支援を実施した。

月	行動報告	
	相談件数	相談内容
H24年4月1日～ H25年3月31日	191件	ゆえみ利用に関する事・健康や生活に関する事・家計や経済に関する事・福祉サービス利用に関する事・情報共有等

#### ③啓発活動の実施

- ・福祉専門職を対象として、若年性認知症者へのケアの質向上を目的として研修会を実施した。

月	行動報告
H24年5月23日（水）	第1回若年性認知症ケア実務者研修
H24年6月5日（火）～ H25年1月12日（土）	第2回若年性認知症ケア実務者研修
H25年2月1日（金）	第3回若年性認知症ケア実務者研修

#### ■若年性認知症ケア実務者研修（第1～3回）

参加者：市町村関係職員、地域包括支援センター関係職員、  
介護支援専門員、介護サービス事業所関係職員等

実施日	テーマ	講師	参加者

第1回 H24.5.23	養成講座Ⅰ	青森県の認知症対策	県高齢福祉保険課主査 青木範子氏	87名
	養成講座Ⅱ	若年性認知症の基礎知識	青南病院 院長 千葉 潜氏	
	養成講座Ⅲ	若年性認知症のリハビリテーション	若年認知症社会参加支援センターヨイト 所長 比留間 ちづ子氏	
	養成講座Ⅳ	若年性認知症～家族の想い～	認知症の人と家族の会青森県支部 世話人代表 石戸 育子氏	
	発表	若年性認知症者の実態	こころすこやか財団 統括 松倉 典子氏	
第2回 H24.6.5～ H25.1.12	現場実習	通所サービスゆえみA 通所サービスゆえみB サロンゆうき	} いずれか2回を選択	66名
第3回 H25.2.1	合同研修会	事例検討（グループワーク）		

#### ④若年性認知症支援ガイドブックの作成

- ・若年性認知症の方とその家族の支援の一助として、青森県版『若年性認知症支援ガイドブック』を作成した。1,000部作成し、平成25年3月末日に青森県健康福祉部高齢福祉保険課へ納品した。

## ◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 有谷泉

### 【報告概要】

もの忘れ検診をより普及し、認知症予備軍の方々を見つけ出し、適切な予防活動と介護予防教室につなげる。認知症の早期発見、早期受診を目的とする普及活動を行う。

### 【報告項目】

- ①タッチパネル式の物忘れ検診機器の県内市町村・団体・事業所等への貸出

### 【報告内容】

- ①タッチパネル式の物忘れ検診機器の県内市町村・団体・事業所等への貸出

#### 1) 青森県を通じ、青森県内の市町村への検診機器貸出

実施日	実施内容	貸出数	延数
7月2～4日（3日間）	新郷村への貸出	3	9
9月6～12日（5日間）	五所川原市への貸出	5	25
10月19日（1日間）	野辺地町への貸出	3	3
11月21日（1日間）	西目屋村への貸出	4	4
11月29日（1日間）	風間浦村への貸出	3	3
12月3～4日（2日間）	大鰐町への貸出	3	6
12月6日（1日間）	中泊町への貸出	3	3
12月13日（1日間）	中泊町への貸出	3	3

2) 県内の市町村・事業所等への機器貸出

実施日	実施内容	貸出数	延数
8月30日(1日間)	青森市	1	1
9月25日(1日間)	青森市	1	1
10月15日(1日間)	青森市	1	1
11月2日・4日(2日間)	青森市	1	2
11月3日	青森市地域包括支援センター寿永	1	1
11月17~18日(2日間)	黒石市地域包括支援センター	2	4
11月26日(1日間)	八戸市地域包括支援センター	4	4
12月3日(1日間)	八戸市地域包括支援センター	1	1
12月7・12・17日(3日間)	青森市	1	5
1月28日	八戸市地域包括支援センター	1	2
3月14日	大鰐町	2	2

◆ 認知症事例検討会

報告担当者 福士一

【報告概要】

認知症者になっても、その人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、また、どのような体制が必要かを、事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

①地域で認知症に携わっている専門職等と、事例検討会を実施。

1) 市内の福祉専門職を対象に、認知症の事例を基に各事業所での対応の仕方等を検討し、検討会を運営した。

実施日	テーマ	案内数	参加施設	参加者数
H25.1.18	認知症家族と施設職員の関係	63 施設	16 施設	32 名

## ◆若年性認知症サロンゆうき（結喜）

報告担当者 鈴木厚子

### 【報告概要】

相談支援事業の一環として、若年認知症者とその家族の交流の機会を設けることで、若年認知症者への適切な支援のあり方を探る事ができた。また、家族間、専門職等との交流の機会を設けることで、情報交換の場として活用し、家族の精神的な負担を和らげることができた。

### 【報告項目】

- ①毎月1回サロンを開催
- ②家族支援としてミニ勉強会の開催及び個別相談

### 【報告内容】

- ①毎月1回サロンを開催  
・登録者数10名中、継続参加は5名（H25.3.31現在）

	開催日	場所	実施内容	当事者	家族 (付添)	ボラン ティア	実務者 研修
第1回	H24.4.14	すこやか会館	手打ちうどん・こいのぼりリース	4	3	1	0
第2回	H24.5.12	十和田市	十和田美術館・道の駅ツア-	2	2	1	0
第3回	H24.6.9	すこやか会館	和風スパ・ヒバ袋	4	3	0	5
第4回	H24.7.14	すこやか会館	バーベキュー・ヒバ袋	3	3	1	3
第5回	H24.8.11	すこやか会館	流しそうめん・フォトルーム	3	3	1	4
第6回	H24.9.8	すこやか会館	お好み焼き・つどい	3	2	0	2
第7回	H24.10.13	南部町	ぶどう狩り	4	2	1	5
第8回	H24.11.10	すこやか会館	炊き込みご飯・マカオストラップ	5	4	1	3
第9回	H24.12.8	すこやか会館	クリスマスパーティー	3	3	0	4
第10回	H25.1.12	すこやか会館	のり巻き・つどい	4	3	1	3
第11回	H25.2.9	すこやか会館	鍋・マグネット	4	4	1	0
第12回	H25.3.9	すこやか会館	ちらし寿司・ヒバ袋	4	3	1	0

②家族支援としてミニ勉強会の開催及び個別相談

実施日	実施内容	種別	講師（対応者）
H24.4.14	車の運転について	個別	鈴木
H24.4.14	介護老人保健施設入所について	個別	松倉
H24.6.9	車の運転について	個別	鈴木
H24.6.9	女性スタッフへの過度な接触について	個別	松倉
H24.8.11	認知症者の車の運転について	勉強会	大橋（ホウテア）・鈴木
H24.8.11	精神障害者手帳取得後の経済的支援	個別	福士
H24.9.8	家族（息子）との関係性について	個別	鈴木
H24.9.8	入所施設の対応（介護）について	個別	松倉
H24.11.10	福祉的就労について	個別	松倉
H24.11.10	運転免許取得について	個別	鈴木
H24.11.10	若年性認知症サポートセンターゆえみへの通所について	個別	松倉
H25.1.12	通所施設の対応（介護）について	個別	松倉

◆介護予防

報告担当者 福士一

【報告概要】

地域の方々の要介護状態になることを予防。住民の一人ひとりが健康維持について高い意識を持ち、仲間作りをすることで高齢者の閉じこもりの予防を目的とした。介護予防という中で、認知症サポーター養成講座や介護に関する啓発活動も行なった。

【報告項目】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施した。

【報告内容】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施。

1) 市内の在宅介護支援センター及び当法人在宅介護支援センターと協力しながら、高齢者を対象とした介護予防等に関連した講演会や健康教室を実施。要介護状態になることを防止するために、在宅高齢者向けに予防教室等を開催した。

実施日	対象者	参加者数	担当職員
H24.5.30	下田面木ほっとサロン	35名	福士一
H24.7.13	七崎介護予防教室	13名	鈴木厚子
H24.7.16	下田面木介護予防教室	29名	福士一
H24.12.17	介護予防教室（田面木地区）	20名	松倉典子
H25.1.21	介護予防教室（田面木地区）	17名	松倉典子
H25.3.14	下田面木介護予防教室	30名	福士一
H25.3.23	南田面木ほっとサロン	26名	福士一

## ◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 福士一

### 【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちにすることが地区住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同で徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では捜索方法と徘徊者への声掛けの方法を学び、地区住民が支援者として活躍できることを目指した。

### 【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

### 【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

#### 1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

- ・田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等と訓練内容と日時について検討した。ネットワーク拡充を目的に八戸工業高等専門学校のほくしん寮及び田面木学童保育（なかよしクラブ）に参加協力を依頼し、なかよしクラブから5名の学童が参加した。

実施日	実施内容	備考
H24.7.14	田面木民生委員会議にて事前会議日の調整	-
H24.7.18	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H24.7.23	企画書提出	-
H24.8.28	田面木まごころネットワーク事前会議	参加者 23 名
H24.9.10	徘徊者ボランティアの募集（福祉学校、福祉関係者）	7 名
H24.9.15	町内回覧板依頼 1 回目（5 町内）	138 部
H24.9.26	第 2 回打合せ（事務局のみ）	-
H24.10.15	町内回覧板依頼 2 回目（5 町内）	138 部
H24.10.10	取材依頼（8 社）	当日取材 2 社
H24.10.20	田面木まごころネットワーク	参加者 62 名

#### 2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H24.10.20	田面木地区住民対象に認知症サポーター養成講座実施

- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を実施した。

実施日	実施項目	実施内容
H24.5.9	活動紹介	認知症サポーター養成講座（公明党会合）にて、田面木まごころネットワークの活動紹介を行った。
H24.5.13	展示紹介	認知症の人と家族の会（青森支部総会）にて田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。

H24.6.23	資料提供	特別養護老人ホームサンアップルホーム（弘前市）へ資料提供を行なっている。
H24.7.28	展示紹介	すこやか福祉祭りにて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H24.8.8	活動紹介	五戸町の民生委員の勉強会にて、地域における認知症支援をテーマに活動紹介を行なった。
H24.9.2	展示紹介	市主催の認知症フォーラムにてブースの出展依頼があり、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H24.9.9	展示紹介	アルツハイマー記念講演会（むつ市）にて田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H24.9.29	活動紹介	南部町にて「地域で考える認知症」をテーマに田面木まごころネットワークの活動紹介を行なった。
H24.11.17	活動紹介	五戸町社会福祉協議会の勉強会にて地域における認知症支援をテーマに活動紹介を行なった。
H24.12.24	展示紹介	青明舎主催の地域のもちつき大会で、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H25.3.16	展示紹介	こころすこやか財団啓発講演会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。

## ◆サービス付高齢者向け住宅 悠湯の里

報告担当者 統括管理者 松倉典子

### 【報告概要】

高齢者が地域で安心して生活ができるよう高齢者サービス付住宅において、介護保険制度のサービス利用だけでは不足する見守りや生活相談などの支援サービスを実施した。また、身体機能の低下に対応する住まいの安全確保及び孤立防止を行い、高齢となっても生活の質の低下させない地域支援を目指した。

### 【報告項目】

- ①相談支援
- ②24 時間見守りサービスの提供
- ③有料サービスの提供
- ④悠湯クラブの開始

### 【報告内容】

#### ①相談支援

##### 1) 入居相談。

- ・入居希望者に対し、居住スペース等の見学を実施。入居希望者については入居者の ADL・IADL を評価し、介護保険、見守りサービス、有料サービスの提供により、生活可能であるかを確認のうえ、安全性の確保された住居を提供した。

月	相談件数	入居者数	退居者数	累計	賃貸数
H24 年 4 月	10 件	1 名	0 名	7 名	7 室
H24 年 5 月	2 件	3 名	0 名	10 名	10 室
H24 年 6 月	1 件	3 名	0 名	13 名	12 室
H24 年 7 月	3 件	2 名	1 名	14 名	13 室
H24 年 8 月	21 件	4 名	0 名	18 名	17 室
H24 年 9 月	3 件	3 名	0 名	21 名	20 室
H24 年 10 月	11 件	4 名	2 名	23 名	21 室
H24 年 11 月	3 件	6 名	0 名	29 名	27 室
H24 年 12 月	3 件	1 名	1 名	29 名	27 室
H25 年 1 月	1 件	1 名	0 名	30 名	28 室 (満室)
H25 年 2 月	1 件	0 名	0 名	30 名	28 室 (満室)
H25 年 3 月	0 件	0 名	4 名	26 名	24 室

##### 2) 生活相談。

- ・入居者の生活する上での困りごとに対する相談を実施。必要に応じて各関係機関と連携し、社会資源の活用を図った。

実施日	実施内容
随時	相談受付

#### ②24 時間見守りサービスの提供

##### 1) 管理人の配置

- ・日中帯にヘルパー2 級以上の有資格者を 1 名以上、夜間帯に 1 名配置することで、緊急時等に対応できる体制を確保し、また入居者と何気ない会話を持つことで、入居者の孤独感の解消に努めた。

実施日	実施内容
随時	入居者の見守り
適宜	緊急時対応
H24.8 月	緊急時対応見直し、消防設備自主点検

H24.11.21	避難訓練（入居者及びスタッフ）、AED講習
-----------	-----------------------

③有料サービスの提供

1) 入居者の多様な生活ニーズに迅速に対応

- ・介護保険サービスを利用していない入居者または、介護保険サービスでは賄えないサービスについて、入居者またはその家族等と合意のもと、有料でサービスを提供した。

実施月	利用者数
H24年4月	3名
H24年5月	3名
H24年6月	4名
H24年7月	5名
H24年8月	7名
H24年9月	8名
H24年10月	13名
H24年11月	14名
H24年12月	17名
H25年1月	16名
H25年2月	19名
H25年3月	18名

④悠湯クラブ

- 1) 入居者同士の交流の場、日中活動の場を目的とし、入居者同士が相互交流できるように行った。また、介護保険に該当されない方も含め、身体的、精神的な介護予防の内容を取り入れた。

実施日	実施内容	参加者数
H24.2.10	映画鑑賞会	11名
H24.2.13	演芸会	18名
H24.2.17	料理	8名
H24.2.24	映画鑑賞会	11名
H24.3.3	お茶会	13名
H24.3.10	映画鑑賞会	18名
H24.3.17	料理クラブ	15名
H24.3.24	映画鑑賞会	13名

## ◆障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催

報告担当者 統括管理者 松倉典子

### 【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障害者、高齢者の地域支援に関連した講演会等を実施した。

### 【報告項目】

- ①講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施。
- ②高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施。
- ③「成年後見制度」に基づく権利擁護について、研修会の実施。
- ④「認知症物忘れ検診機器」で収集したデータの取りまとめ。
- ⑤自殺予防に関する取り組み。

### 【報告内容】

- ①講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施。

1) 高齢者・障害者の地域生活支援に関する専門分野の講師に依頼し、地域支援の展開、具体的な実施方法等について講演会を開催した。

実施月日	実施内容	参加者
H24年10月29日	講演会 「障害者が自信をもって生活するために」～「じりつ」での取り組み～ 講師：NPO 法人じりつ 代表理事 岩上洋一様	88名
H25年3月16日	講演会 第1部「認知症当事者と一緒に過ごして学んでいること」 講師：NPO 町田市つながりの開 理事長 前田隆行様 第2部「本人（家族）の想い」 講師：認知症の人と家族の会 会員 前田栄治、美保子様 第3部 ディスカッション	76名

2) 高齢者、障害者本人、家族、地域住民、公的機関の職員との連携、協働による地域福祉の地域づくりを行った。

実施月日	実施内容	担当職員
H24年9月12日	八戸市認知症フォーラム	4名

※上記以外については公益事業1及び公益事業2の各事業報告を参照

- ②高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施。

実施日	講演内容	対象者	参加者数	担当職員
H24.5.9	認知症体験-タ-養成講座	公明党後援会	60名	福士一
H24.6.15	認知症体験-タ-養成講座	江陽地区住民	21名	福士一
H24.9.9	認知症の地域支援について	むつ市周辺地域住民	63名	松倉典子
H24.10.15	認知症ケアボランティア養成研修	平内町住民等	50名	福士一
H24.11.1	発達障害者社会生活力アップセミナー 「就労相談・支援の社会資源」	発達障害者とその家族等	5名	松倉典子
H24.11.2	発達障害者社会生活力アップセミナー 「金銭管理と消費生活」	発達障害者とその家族等	9名	松倉典子

H24.11.12	発達障害者社会生活力アップセミナー 「職場でのマナー」	発達障害者とその家族等	5名	坂下優子
H24.11.17	こころの健康について ～いきいきとした生活を送るため に～	五戸町地域住民	96名	松倉典子
H24.11.19	発達障害者社会生活力アップセミナー 「健康管理」	発達障害者とその家族等	5名	坂下優子
H24.11.26	認知症体験者養成講座	ツルハドラック従業員	16名	福士一
H24.12.4	発達障害者社会生活力アップセミナー 「求職活動に向けて」	発達障害者とその家族等	5名	沼山忍
H25.1.31	介護教室	八戸工大二高生徒 及び教員	33名	福士一
H25.3.26	こころとからだの健康	階上町地域住民	40名	中居則子

※上記以外については、

公益事業 1- (1)「青明舎」

公益事業 2- (1)「在宅介護支援センターたえみ」(3)「認知症事例検討会」「介護予防」

の事業報告書を参照

③「成年後見制度」に基づく権利擁護について、研修会の実施。

※公益事業 3- (2) を参照

④「認知症物忘れ検診機器」で収集したデータの取りまとめ。

※公益事業 2- (3)「もの忘れ検診機器の貸出」を参照

⑤自殺予防に関する取り組み。

自殺予防に関し、外部研修に参加する機会を設け、他職員へ伝達講習を行った。

実施日	講演内容	担当職員	伝達講習実施日
H24.9.3	24年度青森県世界自殺予防デーフォーラム 株式会社わもん 代表 藪原 秀樹氏	是川 幸恵	H24.9.24

## ◆市民後見人の活動支援

報告担当者 統括管理者 松倉典子

### 【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、養成された市民後見人の相談等に応じることとしていたが、市民後見人として依頼されているケースもなく、後見活動に関する相談はなかった。

### 【報告項目】

- ①H23 年度に育成された市民後見人の要望に応じて相談を受ける。
- ②市民後見推進事業連絡協議会への参加。
- ③法人後見、後見監督人業務等の立ち上げ検討。
- ④法人スタッフの権利擁護活動の支援。

### 【報告内容】

- ①H23 年度に育成された市民後見人の要望に応じて相談については 0 件であった。
- ②市民後見推進事業連絡協議会への会員として参加との話であったが、実際に市が立ち上げた協議会のメンバーには入っておらず、計画上では会員として定期的に参加することとしていたが、実際には実施されなかった。
- ③法人後見、後見監督人業務等の立ち上げ検討。  
平成 24 年度において検討会は実施されなかった。
- ④法人スタッフの権利擁護活動の支援

#### 1) 権利擁護に関する講師派遣

実施日	講演内容	対象者	参加者数	担当職員
H24.4.26	成年後見制度について	移山寮利用者等	32 名	三浦とし子
H24.11.17	成年後見制度について	リカバースポーツ家族会	11 名	三浦とし子
H25.3.24	成年後見制度～より安心して生きるために～	傾聴ボランティアグループ かなる会	33 名	三浦とし子

#### 2) 後見活動

- ・ぱーとなー青森に所属する、法人スタッフ 2 名が後見活動を行った。

対象者	実施内容	登記	担当職員
認知症 女性 80 歳代	後見事務	H22.10.21	三浦とし子
知的障害者 男性 50 歳代	保佐事務	H22.12.16	三浦とし子
知的障害者 女性 50 歳代	後見事務	H24.12.14	松倉典子
知的障害者 女性 50 歳代	申立支援（後見）		三浦とし子
知的障害者 男性 40 歳代	申立支援（保佐）		三浦とし子

# ◆精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

報告担当者 統括管理者 松倉典子

## 【報告概要】

精神疾患、認知症に関する偏見除去及び発症の予防知識の普及を行い、高齢者と障害者の社会参加を啓発広報する事業を行った。

## 【報告項目】

- ①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施
- ②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施
- ③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報の実施
- ④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等

## 【報告内容】

- ①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施
  - ・偏見除去に関する当事者ニーズの把握とそれに基づく活動計画により地域住民や関係機関への啓発教育及び障害者ボランティア講座を開催し偏見除去の啓発広報を行った。
    - 1) 障害者サポーター養成
      - ※公益事業 1- (1) 参照。  
地域生活支援センター青明舎において、サポーター養成を実施
    - 2) 生活・介護支援サポーター養成
      - ※公益事業 2- (1) 参照。  
八戸市高齢者生活支援サポーター養成講座を実施。
    - 3) 障害者・高齢者に関する講座の開催
      - ※公益事業 3- (1) 参照。
    - 4) 法人主催によるイベントの開催

実施月	実施内容	参加者数
H24.7.28	すこやか福祉祭り ・地域住民によるステージ発表 ・飲食、ゲーム屋台 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及（活動内容の展示、個別相談、作品展示、販売など）	179名
H24.12.24	もちつき大会 ・地域住民の協力によるもちつき、販売 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及（活動内容の展示、作品展示、販売など）	95名

- ②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施
  - ・専門医療機関への早期受診・早期診断についての結果を取りまとめた。
    - ※公益事業 2- (3) 「もの忘れ検診機器の貸出」
- ③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報
  - ・精神疾患においての刊行等は実施されなかった。しかし認知症については、認知症の人と家族の会と協力し、「こなゆき」の刊行に携わった。研究発表については H24 年度は行われなかった。
- ④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等
  - ・事例集の作成には至らなかったが、専門職がよりよいサービスに結び付けられるよう、毎週月曜日、処遇検討会を実施した。

実施日	対象施設
H24.4.30	障害者就業・生活支援センターみさわ
H24.5.7	グループホーム
H24.5.7	地域生活支援センター青明舎

H24.5.12	若年性認知症サポートセンターゆえみ
H24.5.14	障害者生活訓練施設青山荘
H24.5.21	在宅介護支援センターたえみ
H24.6.4	地域生活支援センター青明舎
H24.6.11	障害者生活訓練施設青山荘
H24.6.18	若年性認知症サポートセンターゆえみ
H24.6.18	在宅介護支援センターたえみ
H24.7.2	地域生活支援センター青明舎
H24.7.18	障害者生活訓練施設青山荘
H24.8.20	障害者生活訓練施設青山荘
H24.8.27	在宅介護支援センターたえみ
H24.9.17	障害者生活訓練施設青山荘
H24.10.8	地域生活支援センター青明舎
H24.10.15	障害者生活訓練施設青山荘
H24.11.12	地域生活支援センター青明舎
H24.11.26	在宅介護支援センターたえみ
H25.1.7	在宅介護支援センターたえみ
H25.1.21	地域生活支援センター青明舎
H25.1.28	障害者生活訓練施設青山荘
H25.2.4	在宅介護支援センターたえみ
H25.2.18	地域生活支援センター青明舎
H25.3.4	在宅介護支援センターたえみ

※上記以外については公益 2- (3) -2 参照

## ◆コインランドリー・自動販売機等の設置

報告担当者 有谷泉

### 【報告概要】

高齢者サ付住宅「悠湯の里」施設内に公衆電話、又同敷地内にコインランドリー・清涼飲料水自動販売機を設置。コミュニティースペース「ふらっと」建物の敷地内に清涼飲料水自動販売機を設置、同建物側面を広告用看板スペースとして貸出し収益を得た。

### 【報告項目】

- ① コインランドリー収入
- ② 自動販売機収入
- ③ 公衆電話収入
- ④ 屋外広告用看板スペース貸出収入

### 【報告内容】

#### ① コインランドリー

月	実施内容
毎週月曜日	集金
随時	洗濯機・乾燥機の清掃
9月30日	機器の定期点検

#### ② 自動販売機

月	実施内容
随時	販売機周辺の清掃
随時	販売手数料の受領

#### ③ 公衆電話

月	実施内容
毎月末日	集金
随時	電話機の点検

#### ④ 屋外広告用看板スペース貸出

月	実施内容
毎月末	医療法人青仁会へ貸出料受領